

## 5 施設サービスの状況

### (1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も高く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている。なお、要介護状態区別にみると、介護福祉施設サービスでは「要介護4」「要介護5」の割合が多く、介護保健施設サービスでは「要介護3」「要介護4」の割合が多く、介護療養施設サービスでは「要介護5」の割合が多くなっている。(表10)

また、平成29年4月審査分の施設サービス別受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい(図10)。

表10 施設サービス別にみた要介護状態区分別単位数

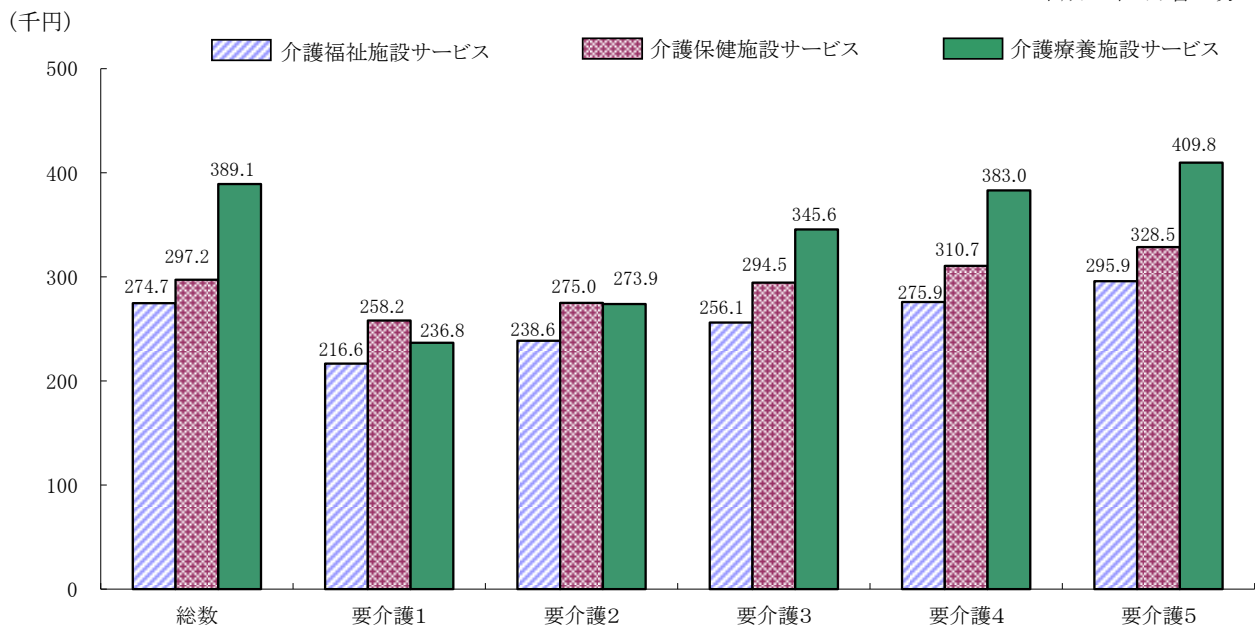
平成28年5月審査分～平成29年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)	単位数 (百万単位)	構成割合 (%)
総数	165 430	100.0	123 224	100.0	24 260	100.0
要介護1	2 752	1.7	12 023	9.8	171	0.7
要介護2	8 608	5.2	21 174	17.2	435	1.8
要介護3	35 580	21.5	29 636	24.1	1 719	7.1
要介護4	59 618	36.0	34 797	28.2	8 183	33.7
要介護5	58 872	35.6	25 593	20.8	13 752	56.7

注：総数には、月の途中で要介護から要支援に変更となった者を含む。

図10 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額

平成29年4月審査分



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

## (2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

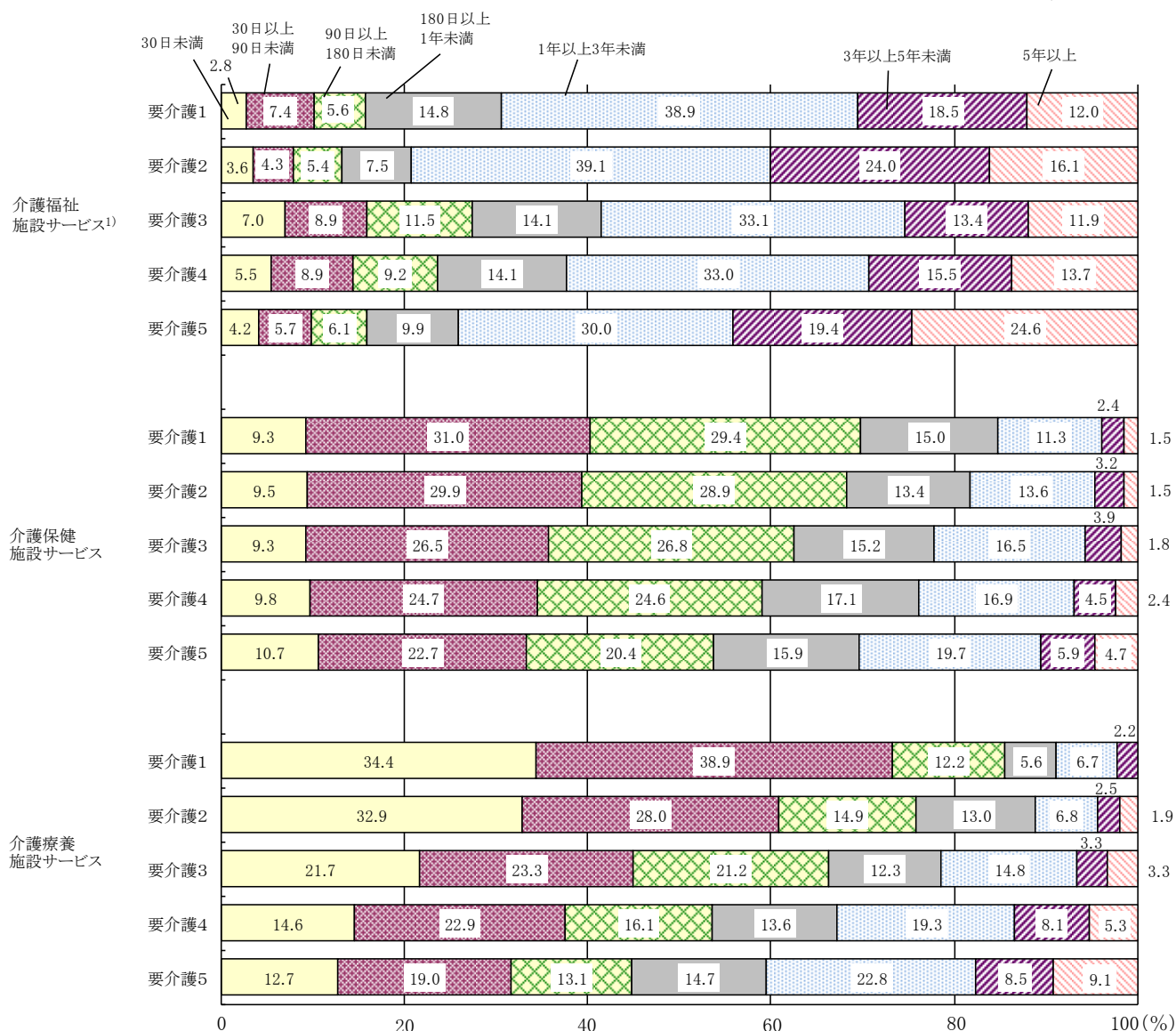
平成29年3月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも「1年以上3年未満」の割合が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護状態区分が高くなるに従って、1年以上の割合が多くなっている。

介護療養施設サービスでは、「要介護1」～「要介護2」では90日未満の割合が6割を超え、「要介護5」では「1年以上3年未満」の割合が最も多い。(図11)

図11 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合

平成29年4月審査分



注：1)介護福祉施設サービスには、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を含む。